

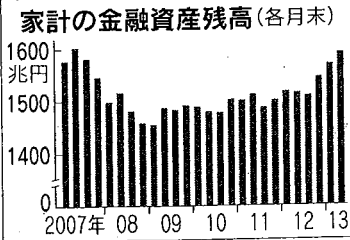
2013. 9. 19 (火)

【第三種郵便物認可】

家計の金融資産5%増

6月末1590兆円 過去2番目の規模

日銀が19日発表した2013年4～6月期の資金循環統計速報によると、6月末時点で家計が保有する金融資産残高は1590兆円になった。



前年同月末に比べて5・0%増え、2007年6月末(1602兆円)に次ぐ過去2番目の大きさになった。アベノミクス効果で株価が上昇し時価評価額が膨らんだほか、投資信託を買い増す動きもみられた。

前年同期比の増加は6四半期連続だった。今年3月末の残高は1568兆円。ここ3カ月間だけでも約22兆円、1・4%増えた計算になる。

と、現金・預金が最も多く、前年同月末比2・0%増の860兆円となった。家計が保有する金融資産のうち54・1%となり、過半を占めた。株式・出資金は31・4%増の129兆円となった。増加は3四半期連続だった。家計は株式そのものは売り越しているが、保有している株の評価額が増え、処分額を大幅に上回った。

投資信託は前年同月末比29・0%増の72兆円で

家計資産の4・5%を占めた。新たに2・9兆円買い増したことで、時価評価額の上昇とあわせて大幅に伸びた。日銀は「貯蓄から投資への流れが出ている」と分析している。債券は9・0%減の31兆円だった。